



No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	矢部地区六自治会協議会	第3回矢部ふれあい盆踊り実施に伴う自治会加入促進事業	住民の高齢化・子供の減少・マンションの増加などにより、住民同士のつながりが希薄になり、地域活動への無関心化が顕著になっている。また、高齢のため、独居になったなど、自治会からの退会も増えている。この事実、自治会役員のなり手不足、会員の減少、ひいては自治会の存続にすら関わる問題だと考えている。	自治会加入者・未加入者を問わず、住民同士が顔見知りになり、住民相互のつながりを強めるのに、盆踊りという地域催事の場合は非常に有用と考えており、その場を活用して自治会新規加入や自治会活動への参加の促進、退会の抑制を図ることを目的とする。 なお、数値目標として、対象6自治会について、会員減少(会員の死亡も含む)10名以下、純新規加入5名以上を目標とする。	昨年度行ったチラシの配布、のぼりの設置は、自治会の存在を知ってもらう有効なツールとして機能している。 これを踏まえ、今年度も、自治会への加入促進チラシを盆踊り周知と合わせて配布する。チラシの裏面には防災マップを印刷し、安易に捨てられない工夫をする。配付については、昨年度の経験を生かし、より周知力の高い矢部駅での配布に注力する。 また、自治会加入促進のぼり旗を作成し、盆踊り会場の自治会加入希望者向けの受付等に設置する。盆踊り終了後は各自治会に設置し、未加入者はもちろん、役員等の加入者に、加入促進活動への意識付けを図る。 (盆踊り日程)(会場:村富神社) 7月21日 前日準備(出店者区割、ライン引き等) 7月22日 当日準備(テント張、電気工事等)、実施、当日片付 7月23日 翌日片付(清掃等) その他事前打ち合わせ及び反省会等	H29.6.15	479,000	79,000	79,000
2	もみの木コンサート実行委員会	第16回もみの木コンサート	本事業は参加者が1300人を超え、年々充実し地区の主要行事の一つになっている。しかし、急激な市街化やマンション建設等による地域連携意識の希薄化や、それに伴う自治会加入の減少、次世代の担い手である子ども・青少年の育成に関する課題は、解決したとは言えない。 また、地域の行事や諸問題に対する認識も第三者的になるなかで、地域の伝統文化行事・諸活動を継続させるとともに、地域の諸活動をさらに充実・活性化し、担い手を育成していくことも必要と考える。	1. 音楽活動を通して、中央地区の小学校・中学校・高校および、地域住民の連携を深める。 2. 音楽文化の芽を育てるとともに、子どもたちを育成し、次世代の担い手を作り出していく。 3. 当日・準備を含め、各団体間の連携を深めると共に、地域活動の担い手を広げていく。 4. 幅広い世代の主催者・参加者が、ともに「ふれあい・支え合い」の感動体験を共有する。 5. 継続することにより、地域の文化行事としての地位をさらに確固たるものにしていく。 6. 継続に対する諸課題に対して、知恵を結集しながら課題解決の手法・力を高めていく。	1. 12月23日に富士見小学校体育館を会場として、中央地区の全小学校・中学校・高校の児童・生徒、さらにシニア団体による合唱・器楽演奏を行い、幅広い世代の参加・見学者が交流する。 2. 特別参加団体を設定し、地域の活動団体のPRの場とすると同時に、音楽文化の向上を図る。 3. ポスター・プログラム・記念品作成や、広報活用など、準備段階から実施・片付けまでの過程を通して、活動団体の交流・連携を強め、担い手を育てる。(中高の吹奏楽の連携など) 4. 継続に対する諸課題、今後のあり方・展望についても、引き続き検討の場を設け、解決策を模索・議論する。(予算面の課題解決法など)	H29.6.15	540,000	270,000	270,000
3	中央地区宇宙教室実行委員会	第3回 子どもと大人共に学ぶ宇宙教室	中央地区には、JAXA(宇宙科学の研究施設)や博物館等の教育施設があるにもかかわらず、十分な活用がなされていない。 このような地域の特性を生かし、地域の子どもたちを中心に宇宙科学のすばらしさを醸成すること、夢と希望のある情操教育を行う必要性を背景に、過去2年間、地域の活性化を図ってきた。本年も継続して実施することが、地域の発展に寄与するものと考え、第3回を企画する。	過去2年間実施した「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」の成果を得て、更なる「学術・文化の中央地区」としての地域活性化をはかり、「まちづくり」に貢献する。 具体的には、JAXA大川先生をはじめ、科学分野の一線で活躍する先生方による講義と、オプションツアーで「JAXA筑波宇宙センター」を見学し、宇宙について、また関連する実験や分野についても学びを深めたい。 昨年度を受講者92名(子ども24名、大人68名)を上回る動員、特に子どもの参加増を図りたい。	第1回:9月16日 博物館地下会議室(開講式とJAXA、博物館連携企画展見学&プラネタリウム鑑賞) 第2回:11月3日~4日 オプションツアー(1泊2日)JAXA筑波宇宙センター研修 第3回:12月9日 「相模原の星空観察」(国民生活センター) 第4回:1月13日 「GPSの仕組みと実験」(国民生活センター) 第5回:2月or3月 「JAXA相模原の新施設見学と研修」 第6回:3月 「開講式とプラネタリウム全天周映画鑑賞」(博物館) その他、公民館子どもまつり、公民館まつり、ふるさとまつりで宇宙教室のPR活動	H29.6.15	1,400,000	900,000	900,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	西門浪漫会議	『西門 るねっさんず』～西門商店街を中心とした中央区の活性化事業	<p>かつて、西門商店街は、「相模原の台所」とも呼ばれ栄え、中小企業庁の「元気のある商店街100選」にも選ばれたが、近年、近隣に大型スーパーやコンビニエンスストアができたことで、商店街自体の来客数も減少し、今や、シャッターが閉まっている店が多い。また、地域コミュニティ形成を目的に「西門プラザ」が建てられたが、商店街の来客数の減少とともに、利用数が減り、売却した経過がある。さらに、西門には、西門商店街を活性化するために制作された岡本太郎氏の「赤い手」「青い手」があるが、このことを知らない市民も増加し、こうした状況も含め「街」の賑わいが減少し、総合的な活力が低下している。</p> <p>その一方、ここ数年の間に、相模原、とりわけ「西門」を愛し頑張る若い起業家、事業者により特色ある新規店舗も開設されるなど、「西門商店街」に新たな「ブランド力」が付与される契機となる動きも見出すことが出来る。</p> <p>こうした「新しい動き」と潜在化しつつはあるものの「培われてきた力」を融合し、西門商店街に「新しい風」を吹き起こすことが、中央地区における地域課題の解決と中央区全体の更なる活性化、市民と共に夢を描き実現する大きな流れの醸成に資するものである。</p>	<p>中央地区の象徴的資源である西門商店街を中心としたエリアにおいて、自治会や商店街など地域で活動する団体との協調と連携を図りながら、更に多様な主体も巻き込み連携することで、地域が有する資源を積極的に活用し、新たな価値を付加・創造し、地域の「元気」を取り戻すことを通じ、地区内住民と地域の活性化の実現を目的とする。</p>	<p>1. 「西門 るねっさんず」広報事業（仮称）マップ「西門浪漫会議」創刊・発行 ①事業の狙いと発展性について 西門の現状とポテンシャルを多くの人たちに理解してもらえるよう、まずはマップの創刊により、多くの人々へ「オンリーワン」としての西門商店街の歴史や価値、魅力を発信する。 この「マップ」は年2回定期的（H29/9月、H30/3月）に発行し、「西門 るねっさんず」広報事業の土台となる。 次年度以降はホームページやSNSなど、ネット発信の環境も順次整備をし、多角的な媒体により広域的かつ多様な年代層への情報発信を実現する。 ②事業の内容 現在、西門に特化した「紹介マップ」は作成されていない。 このため、（仮称）マップ「西門浪漫会議」には、分かりやすい西門Mapと併せ、「西門商店街の歴史」、「西門で営業をする人たちの生の声」、「隠れた西門の魅力」、「空き店舗カタログとしても利用可能な商店街案内」などを掲載し、広く情報発信する。 ・配架場所：中央区内の鉄道駅（6駅）、発信力の高い市内駅等（橋本駅、相模大野駅など）、公共施設、西門商店街など ※発行部数＝1回 1万部（年2回発行） 2. 西門商店街の空き店舗等活用事業 西門内の空き店舗等フリースペースを活用したイベントの開催 ①事業の狙いと発展性について シャッターが閉まっている店舗等を減らし、西門にかつての賑わいを取り戻すことを目的に、1年目は「人々が集い交流するコミュニティ」をコンセプトに空き店舗や空きスペースなど既存インフラを活用した小規模イベントを実施し、その成果をフィードバックしながら、新たな事業へと展開を波及・拡大させていく。 ②事業の内容 ・子供から大人まで参加できるイベントの開催例) 西門浪漫寄席、西門浪漫昔遊び大会、マルシェ等 ・開催時期：H30/2月（商店街の閑散時期を狙って実施） 3 地域活動団体との協調・連携 ①印刷物等には、自治会加入のメッセージをかきこみ、入会促進事業としての性格も併せ持たせる。 ②空き店舗等活用事業の実施に際しては、自治会加入呼びかけチラシなどを併せて配布する。 ③空き店舗等活用事業の実施に際しては、西門商店街で営業する各店舗との協調・連携により、商店街内店舗の魅力発信を実施する。 ④上記1,2に記載の事業のほか、これまでも自治会及び商店街が実施している既存の各事業に参画し、独自イベントの抱き合わせや共催、後援等、積極的に連携を図る。</p>	H29.6.15	510,000	434,000	434,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
5	中央地区みんなの 食堂ネットワーク	中央地区みんなの食堂	<p>今や社会問題となっている都市部における子どもの「貧食」や「孤食」は、中央地区においても例外ではない。夫婦共働き家庭や一人親家庭の増加、また核家族化の進展により、子どもがいつも大人の愛情に溢れる温かい食事をとることが難しい家庭が多く存在する。</p> <p>一方で、中央地区は市内全地区中で自治会加入率がワースト1となっているなど、地域内の連帯意識が希薄化している現状があり、こと子育てに関しても地域全体で取り組んでいく環境が整っているとは言い難い。</p> <p>そのような環境の中、地域の宝である子どもたちの健全な育成と、「子どもを社会で育てる」意識を見つめなおす必要性を感じ事業を計画した。</p>	<p>子どもたちに生活の基本である温かい食事を提供すると共に、子どもたちが安心してコミュニケーションをとることが出来る居場所作りを行う。また、親子で一緒に参加してもらうことにより、親にも地域とのつながりや連帯意識を感じてもらい、今後の子育てに地域との関わりを活かすきっかけとしてもらう。</p> <p>さらに、地域との関わりを通じて自治会や子ども会の存在意義や価値を再認識してもらい、それらの活動への積極的な参加を促すことも副次的効果として期待する。</p> <p>本事業の地域への定着を評価するため、各回の参加者平均20人以上を目標とする。</p>	<p>「あいおい」「ふじみ」ともに、月に1~2回程度、みんなの食堂を開催し、夕食を提供する。子どもと大人(親)が、一人でも一緒にでも気軽に利用できる”居場所”として、地区内に広く呼び掛ける。</p> <p>なお、「あいおい」みんなの食堂は、100%自主財源により運営。本事業は、「あいおい」「ふじみ」の連携と講演会開催、「ふじみ」立上げ補助(2年目)のみを対象とする。</p> <p>その他、自主財源確保のためのバザー、子どもの貧困等を考える講演会を順次実施予定</p>	H29.7.27	150,000	80,000	80,000
6	中央地区情報発信 研究会	中央地区情報 PortalSiteプロジェクト	<p>中央地区には市役所、警察署、郵便局、JAXA、博物館、公園等様々な行政機関、公共機関、施設等があり、様々なイベント、セミナーなどが開催されている。しかしながら、イベントなどの紹介は、各機関のWebサイトや、広報誌で、ばらばらに告知されている。また、公民館運営協議会、まちづくり会議、社会福祉協会などの活動報告は、議事録の形で各機関のWebサイトに公開されているのみで、住民の方の目に触れる事が難しい状況となっている。このような現状を踏まえ、地域住民、特に若年層に向けて、IT時代に合った情報入手手段の確立が必要と感じて事業を企画した。</p>	<p>現在点在している中央地区の情報をまとめるWebサイト(情報ポータルサイト)を構築し、地域主導による中央地区の情報発信の推進をとおして、地域の活性化を図ることを目的とする。</p>	<p>中央地区のイベント、セミナーなどの予定・実施報告、また各種協議会の議事録などの活動報告を対象とする「情報をまとめるWebサイト」を構築し、情報の更新、保管、読者への告知を行う。IT時代にふさわしい中央地区の情報サイトを運営し、情報発信を通じて中央地区の活性化を推進する。</p> <p>当該サイトの機能は、①掲載、②保管、③告知(発信)で構成される。</p> <p>①掲載情報は、中央地区の諸団体が主催するイベント、セミナー、会議などの開催案内と実施報告。</p> <p>②保管情報は、もみの木コンサート15年序奏の記、宇宙教室まとめ誌、防災ガイド等、中央地区の団体が発信した印刷物の情報。</p> <p>③告知情報は、前述の掲載、保管の完了案内。なお、当面の間、③の告知情報は、地域情報紙と連携して地域に発信する。</p>	H29.10.12	200,000	200,000	200,000
7	中央区自治連自転 車対策会議 (※8地区合同事業)	自転車事故撲滅のため の交通安全啓発事業	<p>中央区は、数年に渡って自転車事故多発地域及び高齢者事故多発地域に指定されるなど、交通事故が非常に多い地域である。今年においても昨年を上回るペースで事故が発生しており、早急な対策が必要な状況である。</p> <p>各地区や各団体において、1件でも多く事故を減らすために取り組んでいるところではあるが、活動の範囲は地区内に限定され、広域的な活動はあまりされてこなかった。そこで、この自転車事故対策問題を中央区全体の課題と捉え、広域的な活動を開始することとなった。</p>	<p>中央区全体で自転車利用者に対して標柱幕による交通安全啓発活動に取り組むことにより、自転車事故を撲滅する。</p>	<p>・事故が発生しやすい交差点等に「自転車も止まれ！」の標柱幕を掲出することにより、自転車利用者への啓発活動を行い、自転車事故撲滅につなげる。</p> <p>・標柱幕を設置することにより各地区における交通安全の機運を高め、啓発活動を実施する。</p>	H30.1.29	2,387,000	2,387,000	2,387,000
						うち中央地区分	うち中央地区分	うち中央地区分	
						527,000	527,000	527,000	
							3,806,000	2,490,000	2,490,000